

No	委員意見	事務局回答（第 1 回審議会）	対応
1	目指す環境像に「環境に暮らしと経済が調和した」という表現があるが、ここで指す「環境」とはどのようなものか。環境という言葉には様々な捉え方がある。「緑豊かな環境」や「心地よい環境」等の言葉にすれば、将来像が具体的に想像できると考える。まずベースに環境があり、そこに暮らしと経済が育まれていかなければならないと思うため、「暮らしと経済が豊かな環境のもとで育まれ」等の表現が良いと思う。	環境の定義は幅広いが、市民や事業者がイメージする「環境」は、自然環境、生活環境、資源循環等の暮らしや事業活動に身近なものとする。目指す環境像の示す「環境」については、いただいた意見も踏まえて改めて検討したい。	「環境に暮らしと経済が調和した」の「環境」は、幅広い分野の環境を想定しています。 語句を追加すると、特定の分野を強調する意図に捉えられる可能性もあるため、読んだ人に解釈をゆだねる（多様な「環境」の解釈を受け入れる）意味合いもこめて、現在のままとさせていただきたいと思います。 また、「環境に暮らしと経済が調和した」という文章で、環境をベースとした考えを表現できているものと考えますので、こちららも変更なしとさせていただきたいと思います。なお、目指す環境像の解説文やイラストについては、いただいたご意見を踏まえ、分かりやすい表現とさせていただきます。
2	基本方針について、「リーディングコアシティ」は柏市第六次総合計画における造語である。一般の方が意味をイメージしやすいのか疑問である。	「リーディングコアシティ」は柏市独自の造語のため、次期計画においては、注釈等により分かりやすく意味を示していく必要があると考える。ウェルビーイングやネイチャーポジティブ等の専門用語も同様とする。	計画書第 3 章において、リーディングコアシティの注釈文を記載いたします。
3	目指す環境像の「環境に暮らしと経済が調和した」について、「経済」という言葉が入っているのはチャレンジングである。ただ、その要素が内容に十分に反映されているとは言えない。基本方針 1 の詳細・主な根拠においても「地球温暖化対策はすべての環境分野に影響を与える」と、自分たちの活動を環境分野に限定してしまっている。「地球温暖化対策はすべての分野に影響を与える。柏市環境基本計画は、それを環境の側面から推進する」等の表現とする方が、環境政策の現状には沿っている。全体を通して、「環境分野」という言葉を使うことが良いことなのか、議論の余地があると考ええる。	・骨子案については、いただいたご意見を踏まえて修正を検討したい。なお、資料 1 の 1 2 ページに、環境分野だけではなく、他分野との連携を密にして、相互に良い影響を与えるイメージ図を示している。環境分野同士の縦のつながりに加え、横の連携として、防災・減災、観光、産業振興、交通、健康・福祉、地域間交流等を記載している。このように他分野と共同して柏の良い環境を作り上げていくことができる計画であることを示したいと考えているため、表現も含めて、改善を検討したい。 ・ゼロカーボンシティ推進課においては、環境を足がかりに全てのまちづくりに貢献していくことがミッションであるとする。第六次柏市総合計画において、気候変動対策が重点テーマに設定されている。そこを中心として、防災・減災、学び、健康、社会参加、エリアごとの特徴を活かした地域経済・産業の振興等、全てにゼロカーボンシティ推進課が関わるものとする。取組を具体化していく際には、全庁的な取り組みとして進めていきたい。	計画書第 3 章に記載している基本方針 1 の詳細を修正します。 「地球温暖化対策はすべての環境分野に影響を与える」の表現を修正し、「環境分野だけではなく、社会経済等、すべての分野に影響を与える問題」に修正します。